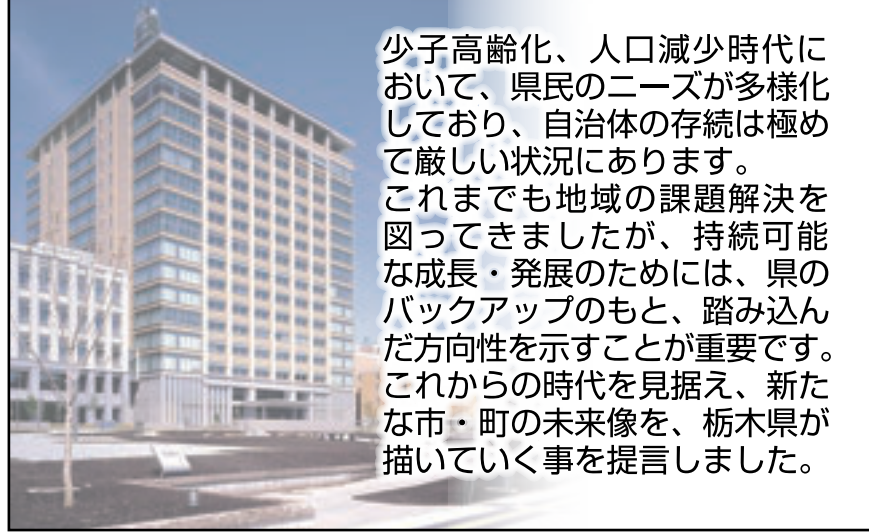


令和5年栃木県議会第397回通常会議
一般質問において初登壇しました。
(9月21日)



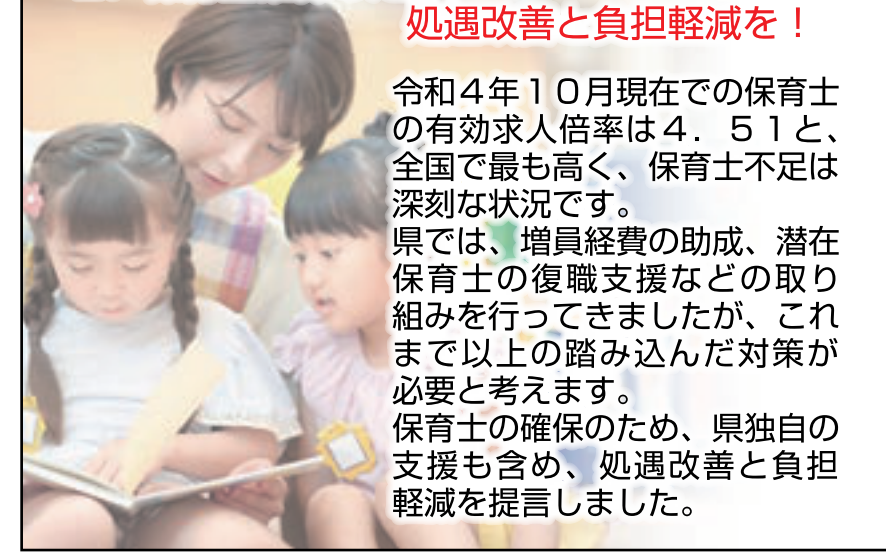
質問内容はこちらで
ご覧になれます。

1. 枠組みの見直しで自治体の存続を！



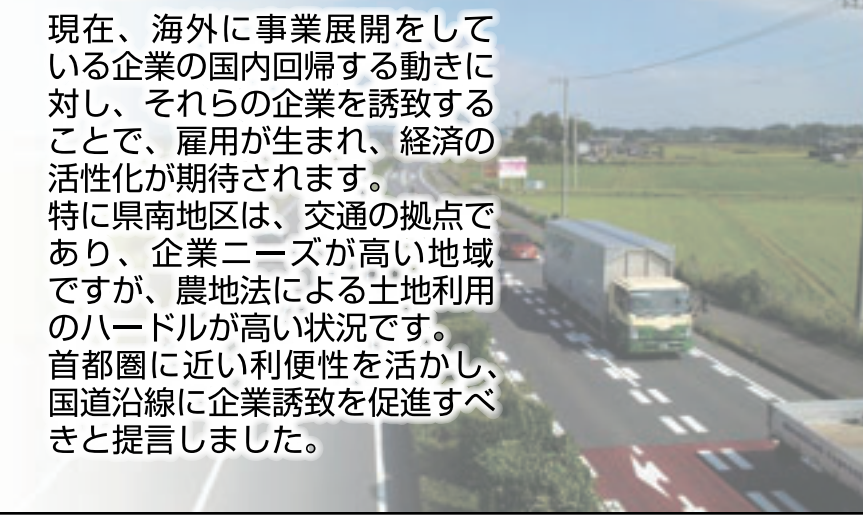
少子高齢化、人口減少時代において、県民のニーズが多様化しており、自治体の存続は極めて厳しい状況にあります。これまでも地域の課題解決を図ってきましたが、持続可能な成長・発展のためには、県のバックアップのもと、踏み込んだ方向性を示すことが重要です。これからの時代を見据え、新たな市・町の未来像を、栃木県が描いていく事を提言しました。

2. 保育士確保のため、
処遇改善と負担軽減を！



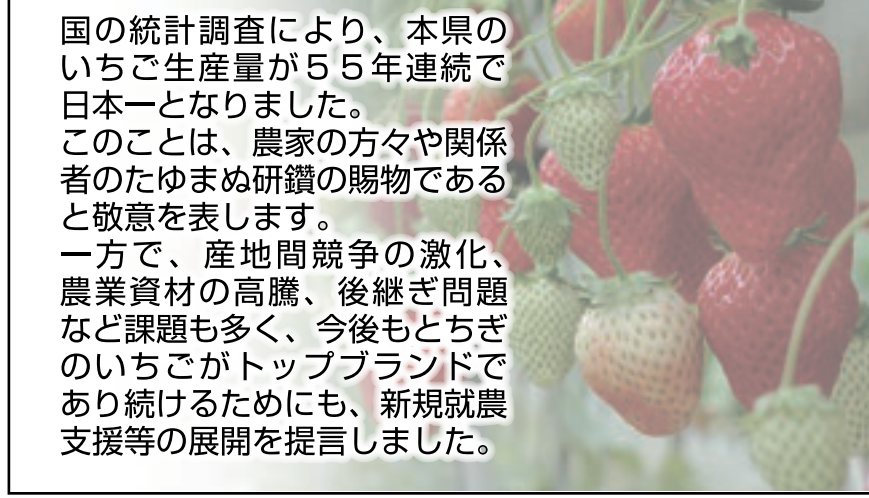
令和4年10月現在での保育士の有効求人倍率は4.51と、全国で最も高く、保育士不足は深刻な状況です。県では、増員経費の助成、潜在保育士の復職支援などの取り組みを行ってきましたが、これまで以上の踏み込んだ対策が必要と考えます。保育士の確保のため、県独自の支援も含め、処遇改善と負担軽減を提言しました。

3. 企業誘致促進のため攻めの土地利用を！



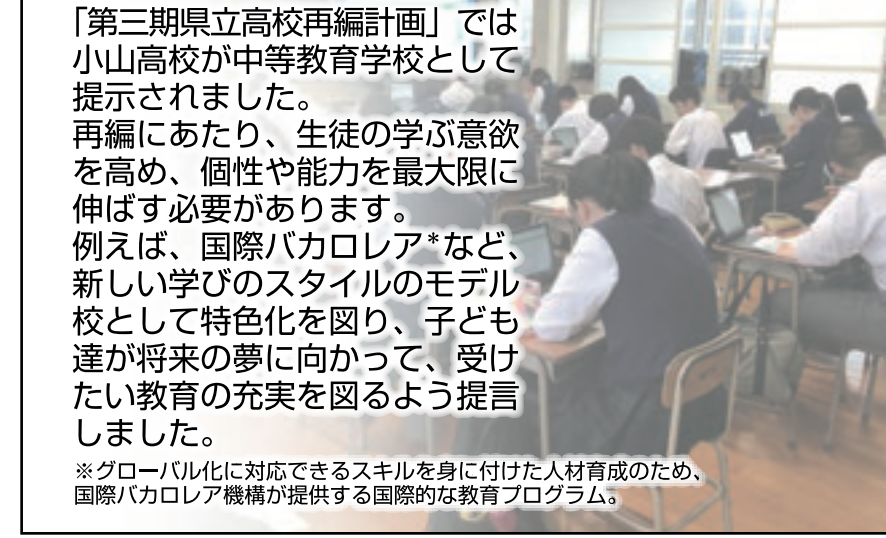
現在、海外に事業展開をしている企業の国内回帰する動きに対し、それらの企業を誘致することで、雇用が生まれ、経済の活性化が期待されます。特に県南地区は、交通の拠点であり、企業ニーズが高い地域ですが、農地法による土地利用のハードルが高い状況です。首都圏に近い利便性を活かし、国道沿線に企業誘致を促進すべきと提言しました。

4. いちご王国として「担い手・生産・ブランド」戦略で日本一を堅持へ！



国の統計調査により、本県のいちご生産量が55年連続で日本一となりました。このことは、農家の方々や関係者のたゆまぬ研鑽の賜物であると敬意を表します。一方で、産地間競争の激化、農業資材の高騰、後継ぎ問題など課題も多く、今後もとちぎのいちごがトップブランドであり続けるためにも、新規就農支援等の展開を提言しました。

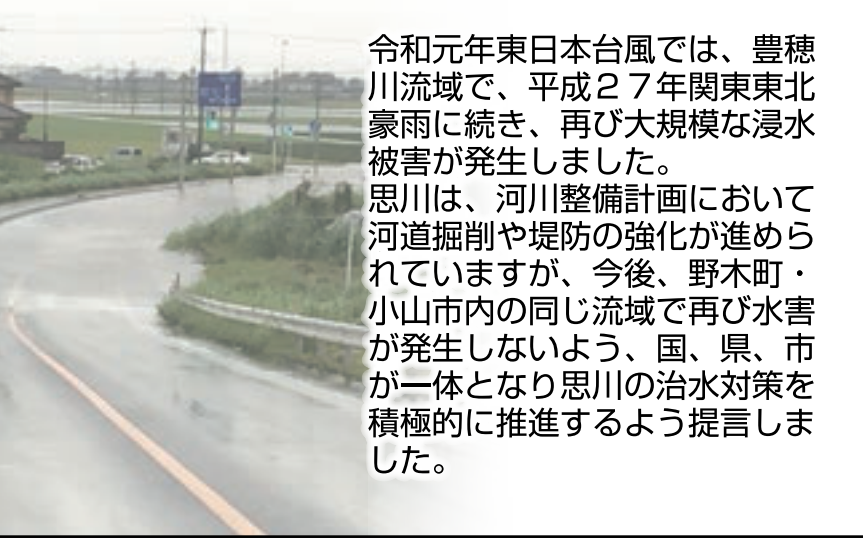
5. 県立小山高校を特色ある中等教育学校へ！



「第三期県立高校再編計画」では小山高校が中等教育学校として提示されました。再編にあたり、生徒の学ぶ意欲を高め、個性や能力を最大限に伸ばす必要があります。例えば、国際バカロレア*など、新しい学びのスタイルのモデル校として特色化を図り、子ども達が将来の夢に向かって、受けたい教育の充実を図るよう提言しました。

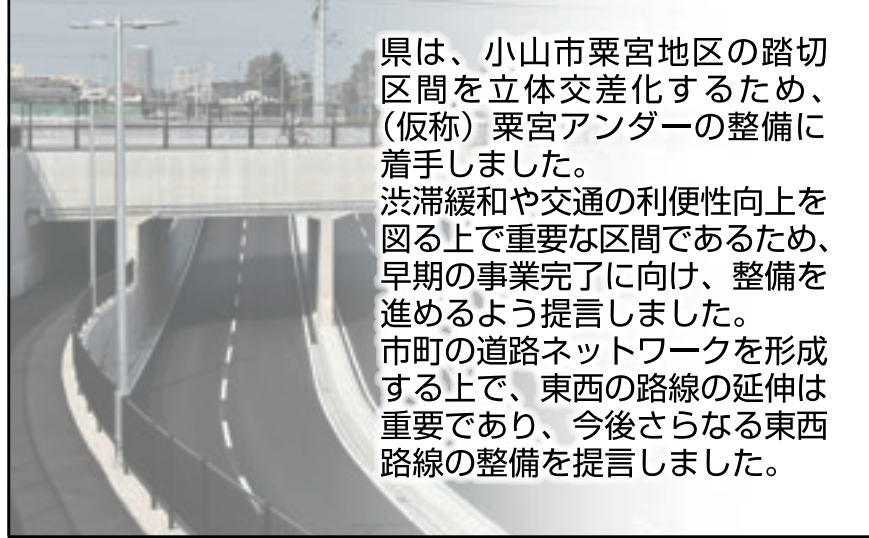
*グローバル化に対応できるスキルを身に付けた人材育成のため、国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム。

6. 思川における水害のない治水対策を！



令和元年東日本台風では、豊穂川流域で、平成27年関東東北豪雨に続き、再び大規模な浸水被害が発生しました。思川は、河川整備計画において河道掘削や堤防の強化が進められていますが、今後、野木町・小山市内の同じ流域で再び水害が発生しないよう、国、県、市が一体となり思川の治水対策を積極的に推進するよう提言しました。

7. (仮称) 栗宮アンダーの整備促進！



県は、小山市栗宮地区の踏切区間を立体交差化するため、(仮称) 栗宮アンダーの整備に着手しました。渋滞緩和や交通の利便性向上を図る上で重要な区間であるため、早期の事業完了に向け、整備を進めるよう提言しました。市町の道路ネットワークを形成する上で、東西の路線の延伸は重要であり、今後さらなる東西路線の整備を提言しました。

大木ひでのり プロフィール 42才
昭和56年4月8日(小山市東黒田) 生まれ

●平成 9年	地元の間々田東小、中学校卒
●平成 12年	栃木県立小山南高校卒
●平成 23年	小山市議会議員 3期
～平成 31年	
●令和 5年	栃木県議会議員 初当選

栃木県議会議員 ・文教警察 常任委員会	とちぎ自民党議員会 ・政務調査会 ・農林環境部会 ・文教警察部会
----------------------------------	--

- ◆小山青年会議所 第49代理事長
- ◆小山市おもいがわ商工会 青年部長
- ◆小山市/栃木県幼稚園PTA連合会 元会長
- ◆小山市消防団第8分団2部 班長

責任世代

HOME PAGE facebook Instagram